

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじん きょうとうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人 京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長 武田市和		
制作団体所在地	〒 616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方		
電話番号	075-600-2259	FAX番号	075-600-2243
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん きょうとうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人 京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長 武田市和		
公演団体所在地	〒 616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方		
制作団体 設立年月	1918年12月		
制作団体組織	役職員 理事長 武田市和 理事 左鴻泰弘、 吉阪一郎、成田有辞、前川光範 監事 西村保美	団体構成員及び加入条件等 京都を主な活動地域とする玄人能楽師囃子方 23名	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	谷口正壽
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	成田有辞

制作団体沿革	大正7年、在京都の能楽囃子方が集まり「同盟会」を立ち上げました。戦中戦後の混乱期に一時自然解散しましたが、昭和30年「同和会」として再出発しました。以後、毎年1回囃子方ならではの公演に取り組み、昭和61年に、名称を「同明会」に改めました。平成15年より8年間、能楽囃子の音楽性にスポットを当てた、「囃子堂」公演にも取り組み、「同明会能」とあわせて毎年2回の公演を行ってきました。平成24年10月に一般社団法人京都能楽囃子方同明会として法人を設立。25年度よりワークショップを中心とした学校公演や、子ども達だけで実演する、こども能楽囃子教室など次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。			
学校等における公演実績	令和元年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演 「体験、体感、能楽の世界」1公演 令和2年度 「学校・アート・出会いプロジェクト 体験！能囃子の世界」6公演 令和3年度 「学校・アート・出会いプロジェクト 体験！能囃子の世界」2公演			
特別支援学校における公演実績	平成25年度 大阪府立刀根山支援学校(他事業) 平成26年度 三重県立特別支援学校北勢きらら学園、県立奈良西養護学校 平成27年度 青森県立若葉養護学校 平成28年度 長崎県立虹の原特別支援学校 平成30年度 福島県立相馬支援学校 令和3年度 熊本県立松橋西支援学校(予定)			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/W5pU_Ys6Ens	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 京都能楽囃子方同明会 】

対象	○	小学生(低学年)		○	中学生	
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	囃子堂～音楽として聴く能～					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ) 休憩 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー					公演時間(95分)
著作権		制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。 1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 …居住まいを正し、きちんと挨拶をしたあと、能楽の概要や歴史をわかりやすく説明します。 2. 各楽器解説…各楽器の説明をして、能囃子の音楽としての魅力を解説します。 3. 早笛…龍神や鬼が登場する際に演奏される軽快で、ハイテンポな登場の音楽です。 4. カケ声で表現してみよう…能楽囃子の特徴であるカケ声を体験して頂きます。カケ声のかけ方でどんな感じに聞こえるのか、間の取り方がどんな風になるのかを体験します。 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ)…大ベシは早笛と同じ旋律・リズムパターンですが、テンポが極端にゆっくりで、力強く超高速での移動を表現します。早笛と比較することで能楽囃子の表現法を学びます。流シでは、互いの気を感じて打つ能楽囃子の最高技法を体験します。 休憩 希望者は小鼓と大鼓を体験できます。(ふれあいタイム) 6. 三番三共演…翁に付随する狂言の舞曲です。大変めでたい曲で、同じリズムを繰り返し演奏します。児童・生徒と共演することで会場全体が一体となる楽しい演奏したいと思います。 7. 神楽…天照大神が隠れた、天岩戸の前で天鈿女命が舞う舞曲です。リズム、ノリの変化に富み、高い演奏技術が要求される楽曲で、大変緩急の激しく観る者をワクワクさせる曲です。 8. 獅子…文殊菩薩の霊獣獅子の舞曲です。静と動・間合のやりとり・気迫が充実した曲で、これぞ能楽囃子の真髄と言えます。 9. 終わりの挨拶と質問コーナー…様々な疑問にお答えします。最後に始まりと同じく、居住まいを正して、きちんと挨拶をします。					
演目選択理由	能楽は、演劇・舞踊・音楽・文学・美術など様々な要素が入った、総合芸術です。この公演は能楽の音楽である、囃子にスポットを当て、独自の音楽性を紹介します。 内容は、大人が聞いても十分に満足のいく芸術性の高い曲ばかりで、退屈しないようテンポの速く軽快な「早笛」、ゆったりと重厚な「大ベシ」、舞曲の原点と言える「神楽」、気迫が充実した「獅子」などを織り交ぜ、能楽囃子の魅力をわかりやすく伝えられるように選曲しました。児童生徒との共演曲「三番三」は同じリズムの繰り返しなので児童生徒でも演奏しやすいことから選びました。 この公演は、特に能楽囃子の魅力が感じられる演目ばかりです。とすれば難解と言われる能楽でも、音楽である囃子ならば理解と言うものを必要とせず、純粹に見て聞いて面白いと感じて頂けます。 能楽囃子は、わずか4人で30人のオーケストラに匹敵するといわれます。その力の源は「気迫」にあります。「気迫」とは、見える物ではなく、聞こえる物でもなく、感じるものです。この、目には見えない、耳には聞こえない「何か」を感じとることで、現代日本人が忘れてしまった五感以外の感覚を呼び覚まし、子ども達の感性を育みたいと思います。 能楽の「魅力」「迫力」を存分に伝え、西洋の「ド・レ・ミ」(絶対の音楽)とは全く違う、日本独自の能楽(相対の音楽)の素晴らしさが伝わる公演にしたいと思います。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	児童生徒共演のコーナーでは、児童生徒達は、ワークショップで体験した「三番三」の小鼓と大鼓を打ちます。事前に選抜した小鼓3名、大鼓3名の1組6名×3組の児童生徒が、実際に楽器を持ち、小鼓と大鼓を打ちます。この時、出演能楽師の笛、小鼓、大鼓が加わります。選ばれなかった児童生徒達も手拍子で参加し、全員でカケ声をかけて、会場全体での共演となります。 カケ声で表現してみようでは、能楽囃子の基本である、カケ声を全員で体験します。 休憩中に、希望者は小鼓と大鼓の体験ができます。直にふれあうことで、児童生徒達と能楽師の距離を縮めたいと思います。					
出演者	笛 杉市和、森田保美、左鴻泰弘、杉信太郎の内1名 小鼓 林吉兵衛、吉阪一郎、曾和鼓堂、古田知英、林大和、林大輝の内1名 大鼓 河村 大、石井保彦、谷口正壽、井林久登、渡部諭、河村凜太郎の内1名 太鼓 前川光長、井上敬介、前川光範の内1名 案内人 谷口正壽、林大輝、渡部諭、河村凜太郎の内1名 (太字は重要無形文化財総合指定保持者) 計5名					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 5 名 スタッフ: 1 名 合 計: 6 名			機材等 運搬方法 積載量: 0.7 t 車 長: 4.8 m 台 数: 1 台		

実施に当たったの 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。										
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間	0.5	時間程度						
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出					
	11時30分	11時30分～12時	13時30分～15時5分	10分	15時30分～ 15時50分	16時					
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。										
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	150名									
	本公演	800名									
ワークショップ 実施形態及び内容	公演当日に共演する「三番三」の小鼓を指導します。 能楽という日頃見ることのない芸術を親しみやすく伝えるため、それぞれの専門家である、小鼓方・笛方・大鼓方(全員能楽師)の計3名でワークショップをします。なぜカケ声を掛けるのか、正座をして演奏するのか、そして何が必要なのかを解説します。カケ声をかけるのを恥ずかしがる子が多いと思いますので、まずは声を出す練習に力を置きます。 能楽は日常の稽古が大切です。ワークショップ終了後に、小鼓、大鼓の構え方、打ち方の練習用に小鼓と大鼓のレプリカをお貸しします。それを使って繰り返し練習してもらいます。 1. 笛まりの挨拶…居住まいを正し、きちんと挨拶します。 2. 能楽ってなあに？…能楽の構成や特徴をわかりやすく説明します。 3. 小鼓ってどんな楽器？…小鼓の打楽器でありながら、一つの楽器で音色を変えられる、世界的に見ても珍しい希な構造や演奏法を紹介しします。 4. 大鼓ってどんな楽器？…大鼓は小鼓とよく似ていますが、性質は全く正反対です。特徴と演奏法を紹介しします。 5. 能楽囃子を聞いてみよう。…「安宅瀧流」を実演します 6. カケ声を掛けよう。…どうしてカケ声を掛けるのかを解説し、カケ声には何が大切なのかを解説し、みんなでカケ声を掛けます。 7. 能楽囃子を聞いてみよう。…公演当日に共演する「三番三」を実演します。 8. 三番三を打ってみよう。…公演当日に、共演する「三番三」の小鼓と大鼓を指導します。 休 憩 10分 9. 小鼓と大鼓を体験しよう。…児童生徒達に実際に、楽器に触れていただきます。 10. 質問感想コーナー…不思議に思ったこと、興味を持ったことなど、何でもお答えします。 11. 終わりの挨拶…始まりと同じく居住まいを正してきちんと挨拶をします。(95分)										
ワークショップ 実施形態の意図	西洋式の生活スタイルになった現代において、能楽は、日常から縁遠い芸術かも知れません。このワークショップは、和気あいあいと、子ども達とふれあいながら、能楽の基本を紹介しします。子ども達には、能楽とは特別・特殊なものではなく、身近なものだと感じてもらいたいと思います。そして、日本の伝統的な姿勢やカケ声・間を知り、世界に誇る能楽の特徴を理解して、「肚を据えて、気を込める。」ことを体験することにより、日本人が元来持っている、芯の強さを身に付けて欲しいと思います。 能楽は礼に始まり、礼に終わります。挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。姿勢を正し、心を添えて挨拶することで、相手への尊敬を表します。互いに尊敬し合うことで、自他の存在を認め、心を開き近づくことができると知って欲しいと思います。 能楽では、数百年前の楽器を当たり前に使っています。これは、楽器のことを道具と呼び、とても大切にしているからです。道具は大事に使えばいつまでも使える。道具の大切さを伝えたいと思います。										
特別支援学校での 実施における工夫点	学校側と緊密に連絡を取り、事情に応じて、できるだけ可能な範囲でのワークショップを行い、公演につなげます。 具体的には、解説を省き、カケ声体験。手拍子での囃子体験に重点を置く。実際に楽器に触れる、肌で感じる公演にする。楽器の共演が難しいときは、カケ声での共演にするなど、臨機応変に様々な形で、児童生徒達の心に残る、肌で感じる、公演・ワークショップにします。										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。										

リンク先

【公演団体名 一般社団法人 京都能楽囃子方同明会 】

能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。
単なる音楽鑑賞に留まらず、挨拶とは何か、道具を大切にする心、心のありかはどこなのか等、現代日本人が忘れてしまった伝統文化を体験して頂きます。

1. 始まりの挨拶



8. 獅子



演目選択理由

雑子堂

音楽として聴く



ヒ～



ポ

タ



おお おと
大きな音で
う 打とう！



チョン！

のうがくし いっしょ
能楽師と一緒に
ワークショップで練習した「三番三」
のこづみ おおつづみ
の小鼓と大鼓を発表しよう！



テン

ツク

いっばんしやだんほうじんきょうとのうがくはやしかた
一般社団法人 京都能楽雑子方
どうめいかい
同明会

ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

はじ 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介	あいさつ のうがく れきし しょうかい
かくがつき かいせつ 各楽器解説	ふえ こつづみ おおつづみ たいこ がつき ひみつ せま 笛、小鼓、大鼓、太鼓。楽器の秘密に迫ろう。
はやふえ 「早笛」	けいけい とうじょう おんがく き 軽快でハイテンポな登場の音楽を聴こう。
こえ ひょうげん カケ声で表現してみよう	こえ たいけん へん かに ひょうげん カケ声を体験しよう。カケ声で何か表現できるかな？
のうがくはやし ひょうげんほう 能楽囃子の表現法	はやし なに ふう ひょうげん のうがくはやしさいこうほう たいけん 囃子って、何をどんな風に表現するのかな？能楽囃子の最高技法を体験しよう。
きゅうけい・・・休憩・・・	
さんばそう 「三番三」共演	ごこくほうじょう いの いっしょ えんそう 五穀豊穡を祈って、一緒に演奏しよう！
かぐら 「神楽」	にほん おんがく げんてん かぐら き えんそう 日本のお祭の原点「神楽」を聴こう。いろんな演奏テクニックが詰まっているよ。
しし 「獅子」	どう せい きはく のうがくはやし しんじい かん 動と静。気迫。能楽囃子の真髄を感じよう。
しつもんかんそう 質問感想コーナーと終わりの挨拶	お さいさつ

スケジュール

	じっし にってい 実施日程	じっし ところ 実施校
①	6月30日(水)	西之表市立古田小学校
	7月1日(木)	南種子町立南種子中学校
②	7月5日(月)	鳥取市立瑞穂小学校
	7月9日(金)	市川町立甘地小学校
③	9月14日(火)	ながさき しりつ たかしましゅうちゅうがっこう 長崎市長島中学校
④	10月11日(月)	まにわ しりつ こうち しょうがっこう 真庭市立河内小学校
⑤	10月18日(月)	させぼ しりつ しおみ しょうがっこう 佐世保市立潮見小学校
	10月19日(火)	やめ しりつ ただみ しょうがっこう 八女市立忠見小学校
	10月20日(水)	くまもと けんりつ まつばにし しえん がっこう 熊本県立松橋西支援学校

	じっし にってい 実施日程	じっし ところ 実施校
⑥	10月25日(月)	いわくに しりつ こうち しょうがっこう 岩国市立河内小学校
	10月26日(火)	やまぐち しりつ とくさ しょうがっこう 山口市立徳佐小学校
⑦	11月9日(火)	うすき しりつ のつ ちゅうがっこう 臼杵市立野津中学校
	11月10日(水)	さいと しりつ ほさた ちゅうがっこう 西都市立穂北中学校
	11月11日(木)	こやし しりつ すき しょうがっこう 小林市立須木小学校
⑧	11月12日(金)	みやこのじょうしりつ しわち ちゅうがっこう 都城市立志和池中学校
	12月13日(月)	くらしき しりつ みずしま しょうがっこう 倉敷市立水島小学校
	12月14日(火)	くらしき しりつ しもつひ ひがししょうがっこう 倉敷市立下津井東小学校
	12月15日(水)	くらしき しりつ ほうだ しょうがっこう 倉敷市立穂井田小学校
	12月16日(木)	あやわちろうりつ はゆか しょうがっこう 綾川町立羽床小学校

出演

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ふえ 笛	さこう 泰弘	もりた 保美	もりた 保美	もりた 保美	すぎ 信太郎	もりた 保美	さこう 泰弘	すぎ 市和
こつづみ 小鼓	はやし 大輝	はやし 大和	吉阪 一郎	はやし 大和	古田 知英	はやし 吉兵衛	古田 知英	そ 曾和
おおつづみ 大鼓	わたなべ 渡部 諭	いばやし 久登	いばやし 久登	いばやし 久登	かわむら 大	いばやし 久登	いばやし 久登	かわむら 大
たいこ 太鼓	いのうえ 敬介	いのうえ 敬介	まえかわ 光範	まえかわ 光範	まえかわ 光範	まえかわ 光範	まえかわ 光範	いのうえ 敬介
案内人	たぐち 正壽	たぐち 正壽	たぐち 正壽	たぐち 正壽	たぐち 正壽	たぐち 正壽	たぐち 正壽	たぐち 正壽

プロフィール

いっばんしゃだんほうじん きょうとのうがくはやしかた どうめいかい
一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

きょうと かつどう ちゅうしん 京都市活動の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演「同明会能」や能楽囃子の音楽性にスポットを当てた「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした「学校公演」、子供達だけで実演する「こども能楽囃子教室」など、次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。大正7年の創立です。

ウェブサイト <http://noh-doumeikai.com>

はやしどう？

絵：まゆか



♪ 知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～ ♪

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界のひと々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K134	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	A/B	区分	C区分
公演団体名	[C区分]一般社団法人 京都能楽囃子方同明会				制作団体名	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会			

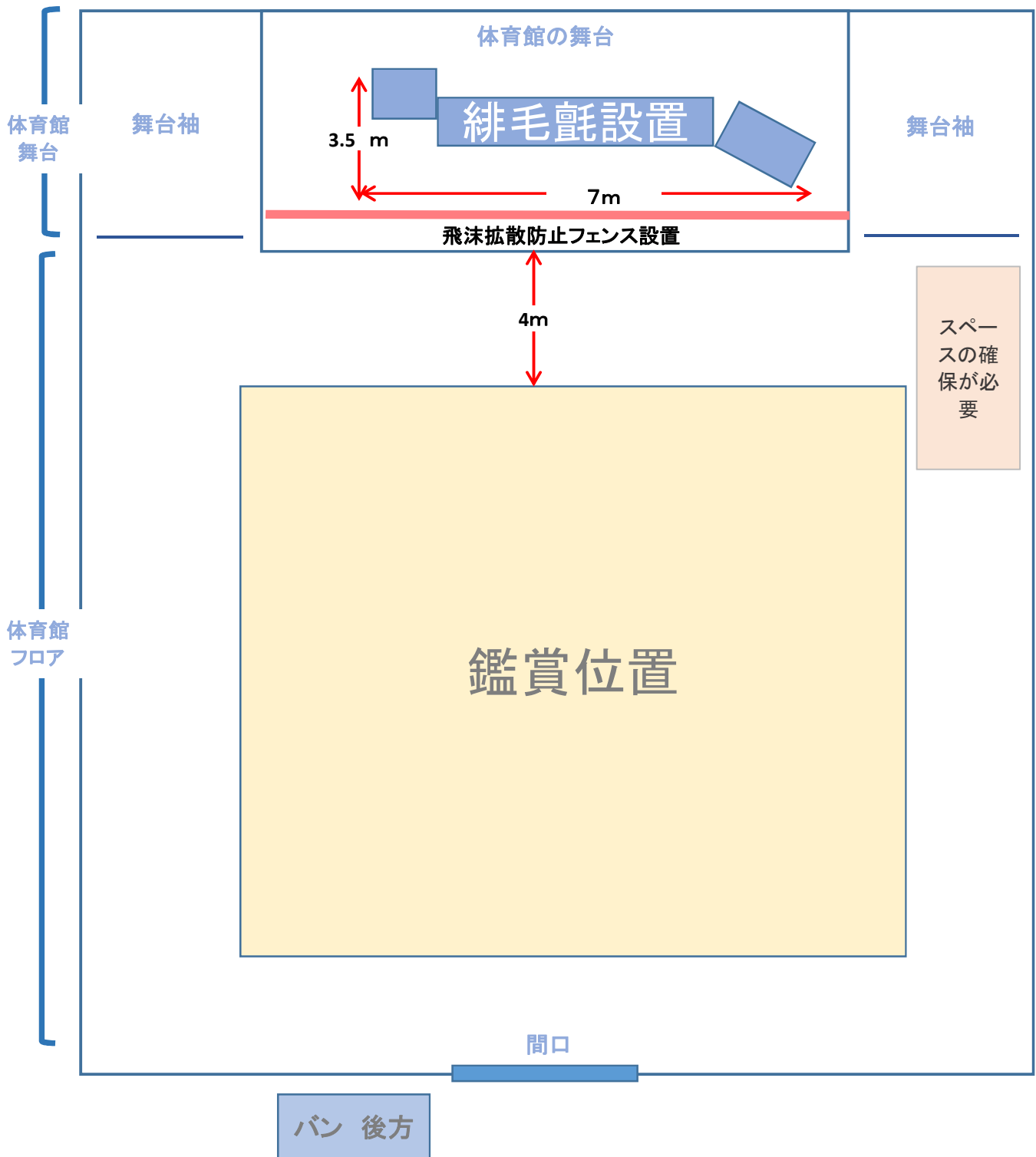
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件		和室など土足厳禁の部屋があれば幸いです。 ない場合は当方で敷物を敷いて対応します。			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台			可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			高さなどの制限がある場合、普通車2台で対応。				
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4.8m 0.7t				
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			100m以内				可
	搬入経路の最低条件			よほど遠くなければ可				可
	理由							
	設置階の制限 *			問わない				
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m	高さ	1.8m		可
	WSIについて	参加可能人数		150名				可
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *				—	
所要時間の目安 単位:分		95分				可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		800名				可	
	舞台設置場所 *		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					—
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7m	奥行	3.5m	高さ	2.2m	可
	体育館の舞台を使用 する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		不要				—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *	不要	バトン *	不要			—
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由				—
	ピアノの調律・移動の 要否 (調律費・移動費は経 費対象外です)	指定位置へのピアノの移 動 *		不要	※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要				—
	フロアを使用する場 合の条件	バスケットゴールの設置 状況 *		格納されていれば可				—
	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				—
	その他特記事項							応相談
								—
								—
							—	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		100m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

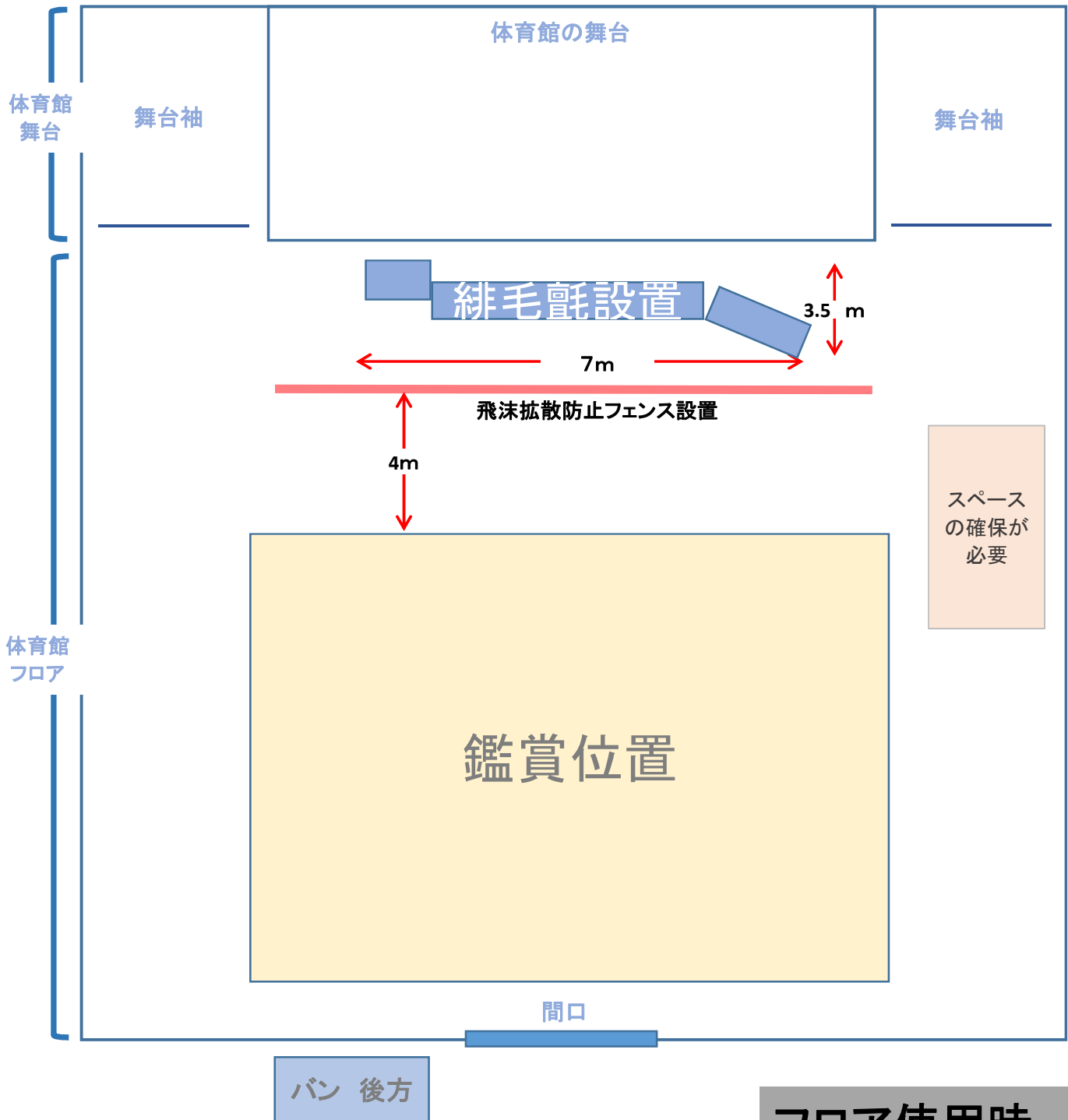


舞台使用時

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		100m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時